

# 相模原商工会議所 景気観測調査結果 (令和7年10月～12月)

前期不調だった製造業と小売業・卸売業が回復傾向に向かい、業種による差が無くなってきた。建設業は上半期の好況は収まりつつあるようである。全業種が天気図の「小雨」の範囲内にあり、全般的に、やや厳しめの業況が続いているといえる。



## ポイント

- ▶ 令和7年10月～12月期の総合業況DIは▲22と、前期▲22から動きがなかった。小売業・卸売業（前期▲35・今期▲27）と製造業（前期▲33・今期▲28）はやや回復した。飲食業・サービス業（前期▲15・今期▲18）と建設業（前期▲12・今期▲19）は若干の悪化であった。全ての業種が「小雨」に集まり、業種間の差が縮まった。
- ▶ コメントによると、引き続きコスト高と人手不足を訴える声が多い。製造業では米国関税の影響が引き続き出ているほか、中国、東南アジアの設備投資の冷え込みの声も上がっている。B2C（消費者向け）ビジネスでは、不況を訴える声が多いが食品関係など好況の業種も散見される。ネット販売に押されているという小売店の声があがる一方で、ネット販売事業者からも売上不振の声が上がっている。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲18と、今期▲22から4ポイントの改善の見込み。製造業（今期▲28・次期▲19）と、小売業・卸売業（今期▲27・次期▲24）も引き続き改善する見込み。飲食業・サービス業（今期▲18・次期▲15）は上昇に転じる予想。今期下がった建設業（今期▲19・次期▲21）は、一旦下げ止まる予想である。



## 各業界から寄せられたコメント

### 高速モータの製造販売

中国の景気停滞の影響で東南アジアの設備投資の意欲が減退している。その影響で売り上げが低迷している。

### 建具工事

取引先（地元工務店等）の仕事減少は年々感じています。そのうえ、食料品やその他全ての価格が高くなっているため、個人消費者が消費を抑えている感じがします。壊れて使えないなどにならないと仕事につながらない状況です。

### 花き

嗜好品である花の消費低迷が加速。一方、仕入単価は下落に転じていて、粗利の増加が見込めてきている。

### 不動産買取再販・仲介・管理

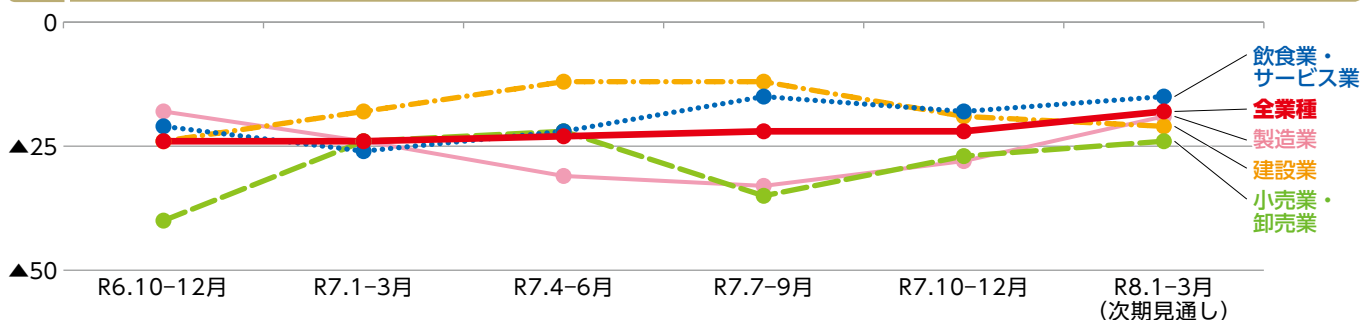
コストプッシュインフレによる物価高、また金利高による高耐久財の買い控え。

### Web型資格試験会場運営など

最低賃金改定に伴う損益分岐点の変化。補助金などを積極的に活用したいが、どうすればいいかわからずにいる。



## 業況別（総合判断）DI値の推移



	前年同期概況 (R6.10-12)	前々々期概況 (R7.1-3)	前々期概況 (R7.4-6)	前期概況 (R7.7-9)	今期概況 (R7.10-12)	次期見通し (R8.1-3)
製造業	▲18 ☁️	▲24 ☁️	▲31 ☔️	▲33 ☔️	▲28 ☁️	▲19 ☁️
建設業	▲24 ☁️	▲18 ☁️	▲12 ☁️	▲12 ☁️	▲19 ☁️	▲21 ☁️
小売業 卸売業	▲40 ☔️	▲24 ☁️	▲22 ☁️	▲35 ☔️	▲27 ☁️	▲24 ☁️
飲食業 サービス業	▲21 ☁️	▲26 ☁️	▲22 ☁️	▲15 ☁️	▲18 ☁️	▲15 ☁️
全業種 (総合)	▲24 ☁️	▲24 ☁️	▲23 ☁️	▲22 ☁️	▲22 ☁️	▲18 ☁️

業況天気図 凡例	快晴 DI値 31以上	晴れ DI値 30～11	薄曇り DI値 10～▲10	小雨 DI値 ▲11～▲30	雨 DI値 ▲31以上
-------------	----------------	-----------------	-------------------	-------------------	----------------

<<景気観測調査>>  
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。  
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値（DI値）を用いる。

調査期間：令和7年10月1日～12月31日  
回答率：16.4% 回答者数：607件  
調査対象：当所会員事業所3,710事業所

中小企業診断士による分析結果およびご活用いただける支援策等をまとめた詳細データは、当所ホームページに掲載しています。  
<https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki>  
データの郵送をご希望される方は、総務課（☎042-753-8131）までご連絡をお願いいたします。

